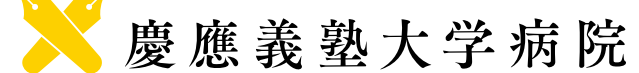




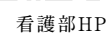
The map illustrates the Yamanote Line and its connections to other major rail lines in Tokyo. The Yamanote Line is shown as a circular line connecting major stations. Other lines include the JR Chuo Line, JR Tokaido Line, JR Keihin-Tohoku Line, and the Keisei Line. The map also shows the location of the Yamanote Line's main station, Shinjuku, and the Yamanote Line's main station, Shinjuku.

JR 成田エクスプレス	京浜急行線
JR 総武線	京成線 (スカイライナー)
JR 山手線	都営大江戸線
JR 京浜東北線	東京メトロ丸の内線
東京モノレール	東京メトロ有楽町線

バス | 新宿駅西口－品川駅高輪口（品97）「信濃町駅前（慶應病院前）」下車
早大正門－渋谷駅東口（早81）「四谷第六小学校入口」下車



E-mail k_saiyo@info.keio.ac.jp



KEIO
UNIVERSITY
HOSPITAL
Department of Nursing

あなたの未来が、
看護の未来になる



チーム医療を推進できる施設環境

「全体最適化、標準化により、誰もがどこでも役割発揮できる環境」
をコンセプトに各設備の運用や看護業務の標準化に取り組み、
スタッフがどの部署でも働きやすい環境を目指しています。



Keio University



慶應義塾大学病院の理念

患者さんに優しく患者さんに信頼される患者さん中心の医療を行います

先進的医療を開発し質の高い安全な医療を提供します

豊かな人間性と深い知性を有する医療人を育成します

人権を尊重した医学と医療を通して人類の福祉に貢献します

看護部の理念

私たちは、「患者を尊重し、患者のQOLを高める看護実践」を通して、

大学病院の社会的役割遂行に協働します

基本方針

1. 私たちは、チーム医療の中で切れ目のない患者中心の看護を提供します
2. 私たちは、高い倫理観を持ち自ら考え行動する看護師を育成します
3. 私たちは、お互いの看護観を認め共に成長できる環境を築きます

教育の理念

自律したジェネラリスト・ナースの育成

医療の変化と共に進化を続ける慶應看護部

最先端医療の提供

当院は、1994年に特定機能病院として承認されました。更に2016年には臨床研究中核病院、2018年にはがんゲノム医療中核拠点病院としても承認されています。2018年内閣府AIホスピタルモデル病院への採択に続いて、研究開発事業（SBIR）に採択されAIホスピタルの実装に取り組み続けます。AI、ロボット、センサー技術を用いて患者さんに先進的な医療サービスを提供するとともに、業務効率化による医療従事者の負担軽減に取り組んでいます。

急性期病院としての使命

急性期病院とは、緊急の処置を要する、あるいは重篤な症状である患者さんに、24時間体制で集中的な治療を行う病院をさします。急性期の患者さんは、一瞬にして症状が大きく変化することがあります。そのために看護師には、継続的に患者さんの症状をアセスメントし、適切な判断を行う臨床推論力が求められます。また、病気・治療の流れについての説明や、患者さんの不安の解消に努めるなど、多面的に患者さんやご家族を支える役割を担っています。

チーム医療の実践

当院では、一人の患者さんに関わるすべての職員が連携して治療にあたる「チーム医療」の体制をとっています。チーム医療では患者さんもチームの一員としてとらえられており、治療は常に患者さんを中心として進められます。さらに、患者さんの生活の質（QOL）の向上につなげるためには、地域包括ケアの視点も重要であり看護師は要としての役割を担っています。看護師が担う役割は大きく、それだけにやりがいを持って働くことができます。



患者中心の看護を提供する

ジェネラリスト・ナースへの成長を支援します

未来につながる看護を一緒に創りましょう



看護部長 加藤 恵里子

当院は2018年に新病院棟が開院し、2022年5月にグランドオープンいたしました。患者さんに優しく、教職員にとって働きやすい環境が更に整いました。2020年には病院開院100年を迎え、次の100年に向けて、現在歩み始めております。臨床研究中核拠点病院、がんゲノム医療中核拠点病院として、またAIホスピタルモデル病院として、これからの医療を創るステージへ病院機能は急速に変化しています。

看護部では、患者さんのQOLを高めることを目的とした、ベッドサイドでのケアの質の向上という、看護本来の役割をより高められるよう努めながらも、高度急性期医療の現場で活躍できる自律したジェネラリスト・ナースを育成します。そのために、「慶應看護部の発達モデル」と「キャリアパス」を活用しています。「常に患者さんの視点で考えられる人」、そして「自ら考え行動し、専門職業人として自己を高められるよう努力できる人」を求めています。

皆様の力がこれからの看護を構築するのに是非とも必要です。皆様が成長でき、看護の力を発揮できる環境をつくってまいりますので、未来につながる「心の通った」看護を一緒に創りましょう。

慶應義塾大学病院の特徴

特定機能病院

地域がん診療連携拠点病院

臨床研究中核病院

がんゲノム医療中核拠点病院

災害拠点病院

救急病院

地域周産期母子医療センター

エイズ拠点病院

AIホスピタルモデル病院

財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 一般病院3 3rdG:Ver2.0（2022年11月10日認定）

慶應看護の特徴

慶應義塾大学病院では看護提供方式として、複数の看護師で構成する「慶應チームナースィング」を採択しています。地域連携の充実のために多職種と連携したチーム医療を推進し、包括的看護を実践しています。

包括的看護を提供 ～切れ目のない継続した看護～

看護部は時代の要請や看護学の発展に合わせて、その時代に最も適した看護を実践することを目標に活動しています。看護提供システムや看護方法、教育などを常に見直し、患者さんのニーズに対応しています。一人ひとりの患者さんの特性に応じた看護を提供するためには、チーム力を発揮し、卓越した知識・技術を持った看護師や多職種による相談や専門ケアが不可欠です。また、入院期間が短縮する中、患者さんの療養環境の調整は、外来受診時から入院加療後の生活を見据えて行うことが必要です。療養環境の調整や在宅医療の支援、地域との連携を充実させるために、多職種が連携したチーム医療を推進し、切れ目のない継続した看護を提供しています。

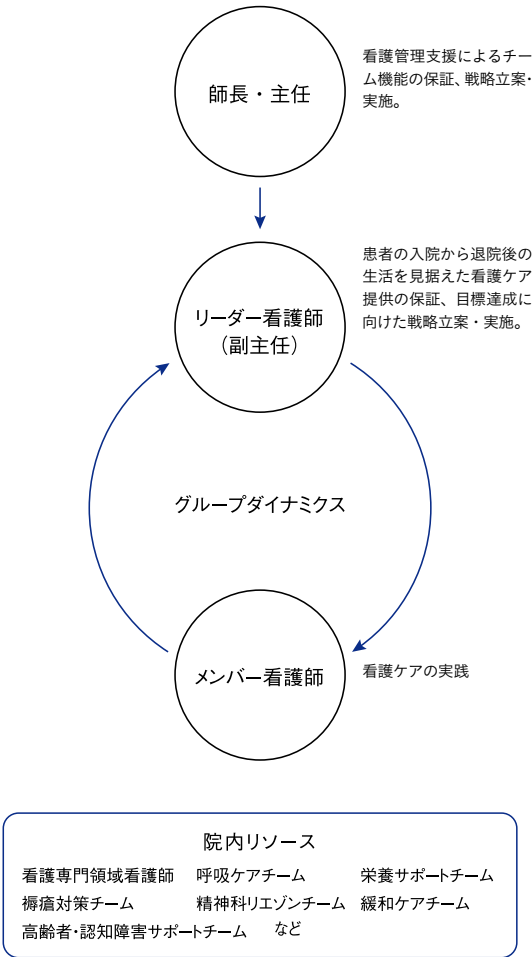


慶應チームナースィング

看護提供方式は、リーダーを中心として複数の看護師で構成するチーム制＝「慶應チームナースィング」を採択しています。チームは経験・看護実践力・専門の異なる看護師で構成されており、看護師の能力・成長の度合いはさまざまです。看護師が個々の力を発揮しながら、不足している能力はチームの力を借りて補い、実践できるようチーム全体で保証しています。患者さんのケアでより専門的な知識・技術が必要となった場合や、在宅での療養環境の調整が求められる場合には、各専門領域の看護師や、多職種の院内リソースを有効活用し、連携をとりながら、質の高い看護の提供に努めています。



慶應チームナースィングによる看護ケアの提供



看護専門領域

慶應チームナースィングのリソースとして、看護の質の維持・向上に役割を発揮します。専門・認定看護師が看護専門領域看護師として認定され、組織の中で横断的に活動しています。専門・認定看護師は、専門性を活かし直接患者さんに看護を提供するとともに、院内の看護師の指導・教育および相談活動を行います。現在、日本看護協会が認定している23分野の専門・認定看護師と、その他専門資格の1名が活躍しています。



栄養サポートチームの一員として、入院患者の栄養状態改善に向けた支援を行います。
摂食・嚥下障害看護認定看護師 Oさん

専門領域看護師 48名				
専門看護師 6領域 16名	認定看護師 17領域 31名			その他専門資格
急性・重症患者看護 3名	集中ケア 3名	救急看護 2名	手術看護 1名	認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト 1名
精神看護 2名	がん薬物療法看護 (特定行為看護師1名含む) 4名	がん性疼痛看護 1名	乳がん看護 1名	
小児看護 2名	緩和ケア 1名	糖尿病看護 2名	透析看護 2名	皮膚・排泄ケア (特定行為看護師2名含む) 4名
がん看護 5名	慢性心不全看護 2名	摂食・嚥下障害看護 2名	感染管理 2名	
感染症看護 2名	不妊症看護 1名	新生児集中ケア 1名	認知症看護 (特定行為看護師) 1名	
遺伝看護 2名	がん放射線療法看護 1名			

(2024年4月現在)

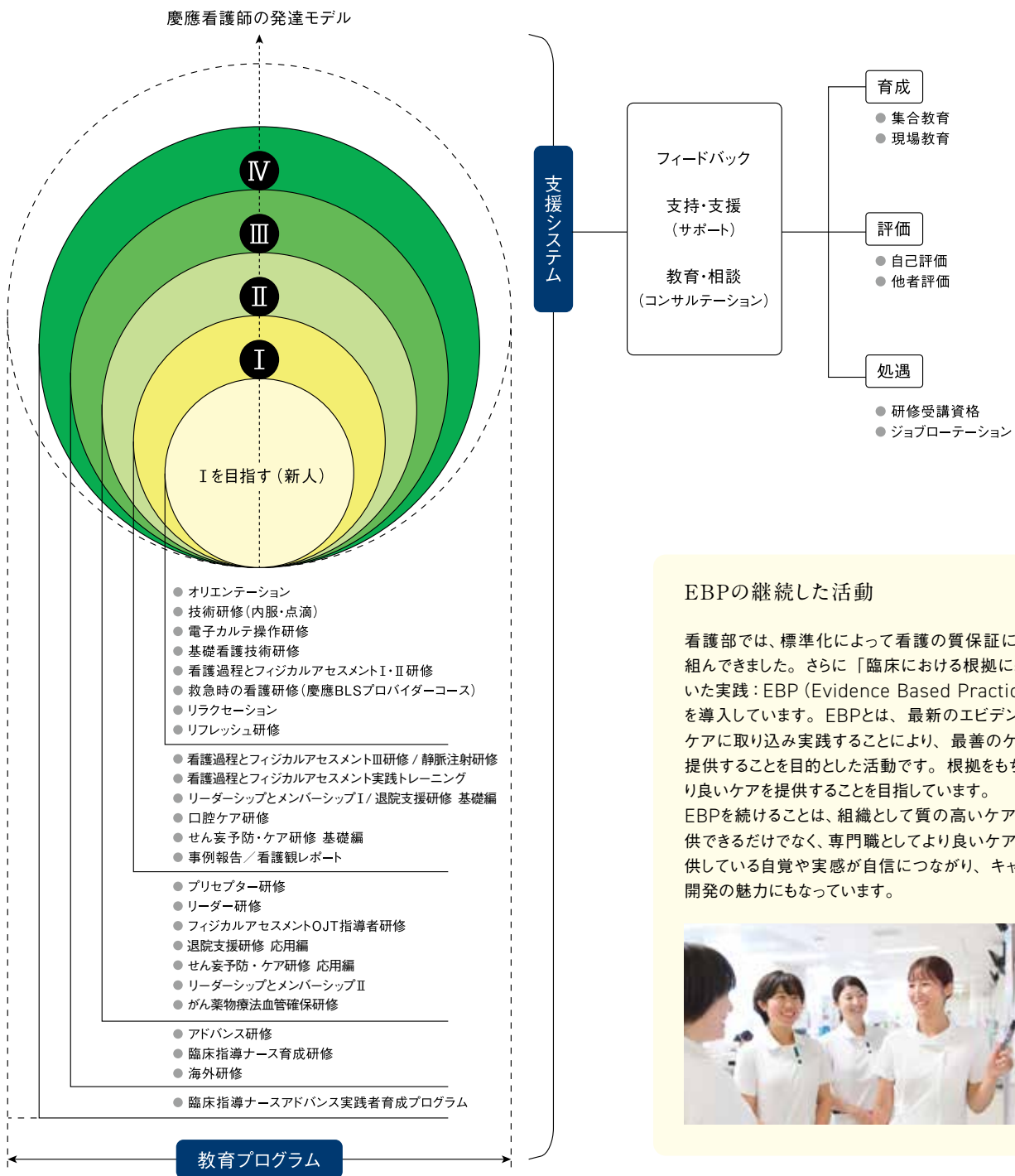
人材育成（慶應看護師の発達モデルと支援システム）

人材育成においては看護部独自の「発達モデル」があり、看護師一人ひとりの成長を支援しています。
充実した教育によってジェネラリスト・ナースとしての完成を目指し、個々のキャリアアップにつなげています。

自律したジェネラリスト・ナースの育成

看護師一人ひとりが自律し、成長していくことを支援するための充実した教育体制を整えています。最大の特徴は、新人看護師、2年目、3年目…と年次によって教育プログラムが決められているのではなく、一人ひとりの経験や習熟度に応じて学ぶ方式であるという点です。個人の強みを伸ばしながら、発達レベルに応じて様々な研修プログラムが用意されています。「発達モデル」は、成長を膨ら

みとして捉えています。発達モデルⅠ～Ⅳのレベルはスキルの優劣ではなく、成長（膨らみ）の目安と位置づけており、ジェネラリスト・ナースとしての完成を目指しています。
さらに、高度先進医療に対応できるスキルを持つスペシャリストナースや教育的役割を持つ臨床指導ナースなど、個々の看護師のキャリアアップを図るための支援を行っています。



EBPの継続した活動

看護部では、標準化によって看護の質保証に取り組んできました。さらに「臨床における根拠に基づいた実践：EBP（Evidence Based Practice）」を導入しています。EBPとは、最新のエビデンスをケアに取り込み実践することにより、最善のケアを提供することを目的とした活動です。根拠をもち、より良いケアを提供することを目指しています。EBPを続けることは、組織として質の高いケアを提供できるだけでなく、専門職としてより良いケアを提供している自覚や実感が自信につながり、キャリア開発の魅力にもなっています。



My Portfolio

私のポートフォリオ



ポートフォリオとは、自分がこれまで行ってきた仕事・活動などのプロセスや成果をファイルにまとめたものです。
看護師一人ひとりが自分自身のキャリアビジョンを描き、
目標達成に向けての具体的な活動を行ったり、支援を求めたりする時に活用しています。



質の高い医療・看護の提供に責任を持てるリーダーになりたい

私の所属病棟では、主に消化器内科と神経内科の患者さんの看護を行っています。様々なステージのがん患者さんや神経疾患で生活の再編成が必要な患者さんに対して、看護師は意思決定支援と退院支援を行うコーディネーターとして重要な役割を担っています。今年度はリーダー研修に取り組んでいますが、他職種と連携しながら患者さんご家族により良い治療選択と希望の実現ができるように最善を考えること、そしてあらゆる苦痛を緩和することを目標に、質の高い医療と看護の提供に責任を持てるリーダーになるため、日々精進しているところです。今後もスキルアップしていけるように努力を続けていきたいと思っています。

発達レベルⅡ | 2019年入職・慶應義塾大学卒業 Sさん

リーダーとしてメンバーとの関わりや他部署との連携を高いレベルで実践したい

私が所属する小児病棟は、手術を受ける短期入院の方、白血病など長期にわたり化学療法を必要とする方、小児ICUで全身状態管理を必要とする方といった、多様な疾患の子どもたちを受け入れています。小児は認知機能が未熟なため、発達段階や個性に合わせた関わり方をチームで検討して看護を実践しています。患者家族との関わりも重視しており、私はリーダー看護師としてご家族とコミュニケーションをとり、不安を傾聴することで意思決定の支援に努めています。今後の目標は、リーダー研修で学んだ病棟メンバーとの関わり方や問題解決能力をより高いレベルで実践し、他部署との連携を意識したいと考えています。

発達レベルⅢ | 2016年入職・東北大学卒業 Nさん



チーム医療のリソースパーソンとして役割を発揮していくことが目標

アドバンス研修では様々な部署のスタッフが患者に対して共通認識を持って介入できるよう、継続看護のプロセスにおける再構築を行いました。現在私が所属する救急センターは小児から高齢者、内科疾患や外傷と対象患者や疾患が多岐に渡る点が特徴ですが、救急センターを受診した患者が外来や入院病棟でも切れ目のない看護が提供されるよう、研修での学びを実践しています。様々な部署を経験しジェネラリストとして働くなかで、今後は長期的に働くことができるような職場環境や人材育成に尽力したいと考えています。

発達レベルⅣ | 2011年入職・北里大学卒業 Aさん



新人を支える教育支援体制

新人看護師が看護過程を実践できるようになり、長期的なキャリアの基盤が築けるよう支援しています。
新人看護師の育成は集合教育と現場教育が連動することによって、目標達成できる仕組みになっています。

新人看護師教育プログラム

1年目

4月

新採用者オリエンテーション

技術研修(内服・点滴)

基礎看護技術研修
(スキルアップトレーニング含む)

① 尿道留置カテーテル ② 酸素療法
③ 吸引 ④ PCAポンプ
⑤ 輸液ポンプ・微量輸液ポンプ
⑥ トランスファーポジショニング
⑦ ポジショニング
⑧ 血糖測定・インスリン皮下注射

救急時の看護研修
(慶應BLSプロバイダーコース)

5月

6月

7月

看護過程とフィジカルアセスメントⅠ研修
(フィジカルイグザミネーションスキルアップトレーニング含む)

① 看護過程演習
● 情報収集 ● アセスメント
② フィジカルイグザミネーション
● 循環器系 ● 脳神経系
● 呼吸器系 ● 消化器系

8月

9月

10月

看護過程とフィジカルアセスメントⅡ研修

① 看護過程演習
● 関連図 ● 看護診断
● 看護計画立案
② フィジカルアセスメント
● 模擬患者さんに対する
シナリオシミュレーション

11月

12月

1月

2月

3月

看護過程とフィジカルアセスメントⅢ研修

① 看護過程演習
● 評価
② フィジカルアセスメント統合
● 模擬患者さんに対する
シナリオシミュレーション

静脈注射研修

フィジカルアセスメントOJT評価プログラム

日々の実践を通して
フィジカルアセスメントのトレーニング

7月

8月

9月

事例報告

日々の看護実践をまとめ
客観的に評価する

10月

2年目
以降

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

シミュレーターを使用したスキルアップトレーニング

クリニカル・シミュレーションラボを活用
e-ラーニングによる学習が可能

リラクセーション

① ストレスについて
② リラクセーション
法の実践

シミュレーターを使用したスキルアップトレーニング

リフレッシュ研修

① ストレッチ
② 卓球大会 等

OJT(On The Job Training)

臨床実践を指導する層の厚さ

年度末には、新人の8割以上が
発達レベルⅠに到達します。また、
発達レベルⅡ以上のリーダー役割
を担う看護師が約7割を占めてお
り、臨床現場での指導者層が厚
いことがわかります。リーダーナ
ースとして部署の役割を担う、専門
分野の勉強に挑戦するなど、様々
な領域で活躍する先輩看護師か
ら学ぶことで、自身のキャリアの
方向性が見えてきます。

レベルⅣ
16%

レベルⅢ
24%

レベルⅡ
23%

レベルⅠ
24%

レベルⅠを目指す
13%

(2024年9月現在)

プリセプターシップ

新人看護師が職場にスムーズに適応し、看護師としての基礎を養うためにプリセプターシップを採用しています。
プリセプター研修を受けた先輩看護師が、看護師長・主任・副主任・臨床指導ナース・同僚と一緒に
プリセプティ(新人看護師)を支援します。

プリセプティ(新人看護師)

親身になってくれるプリセプターに支えられ
患者さんに寄り添える看護師を目指す

患者さんに寄り添える看護師になりたいと思い、慶應大学病院の「発達モデル」なら目標に向かって成長できると考え入職しました。神経内科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科の混合病棟に所属しており、幅広い疾患や治療を目的に入院される方へ個性に合わせた適切なケアを提供できるよう、学びと実践を繰り返しています。プリセプターは相談しやすい存在で、成長に向けたアドバイスをくださいます。課題の指導やメンタル面でも気にかけてくださり、新しい環境で慣れないことも多いなか支えとなっています。今後も患者さんに寄り添うことを軸に、信頼と安心を提供できるよう成長し続けます。

2024年入職・慶應義塾大学卒業 Tさん

プリセプター

プリセプターだけでなく病棟全体で
新人看護師の成長を見守りサポートする

私の所属する病棟では、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、歯科口腔外科、神経内科の患者さんがいます。外科手術を受けた患者さんの支援や神経難病の患者さんの日常生活動作の援助、退院後を見据えて残存機能を生かしたケアの実践や指導などを行っています。新人看護師指導においては、どんな時でもプリセプティの話しに耳を傾けて、考えを尊重し、一緒に考えてアドバイスすることを心がけ、業務や学習状況に加えて、精神面も気にかけて声をかけています。またプリセプターに限らず病棟全体で成長をサポートしています。入職当時は業務に追われている様子でしたが、最近では患者さんに明るく笑顔で落ち着いて対応できており日々成長を感じます。今後もみんなでチームの一員である新人の成長を支えていきたいと思っています。

2020年入職・帝京大学卒業 Hさん

臨床指導ナース

意欲を引き出し行動に移せるよう
対話を大切にして学習支援に取り組む

病棟で看護実践を行いながら、臨床指導ナースとして新人看護師など発達レベルⅡまでの看護師、プリセプターの役割を担う看護師、臨床実習を行う看護学生への支援を行っています。指導の際は、相手の困っていることは何か、どのように克服していけるかを共に考えるようにしています。対話の中で相手が解決方法を見出し、その成果を共有できると、成長への変化を感じ、臨床指導ナースとしてのやりがいを実感しています。指導者としては学びの途中なので、どのように関われば相手が「頑張ろう」「成長したい」と思い、行動に移せるかを考えて日々コミュニケーションをとり、学習支援をしていきたいです。

2008年入職・慶應義塾大学卒業 Aさん

10

11



新潟大学卒業 Wさん	慶應義塾大学卒業 Mさん	久留米大学卒業 Kさん
---------------	-----------------	----------------

勤務体制・3 交替の特徴

看護師の勤務には大きく2交替と3交替がありますが、慶應義塾大学病院では3交替制を採用しています。
勤務者の健康を維持できる無理のないスケジュールに努めています。

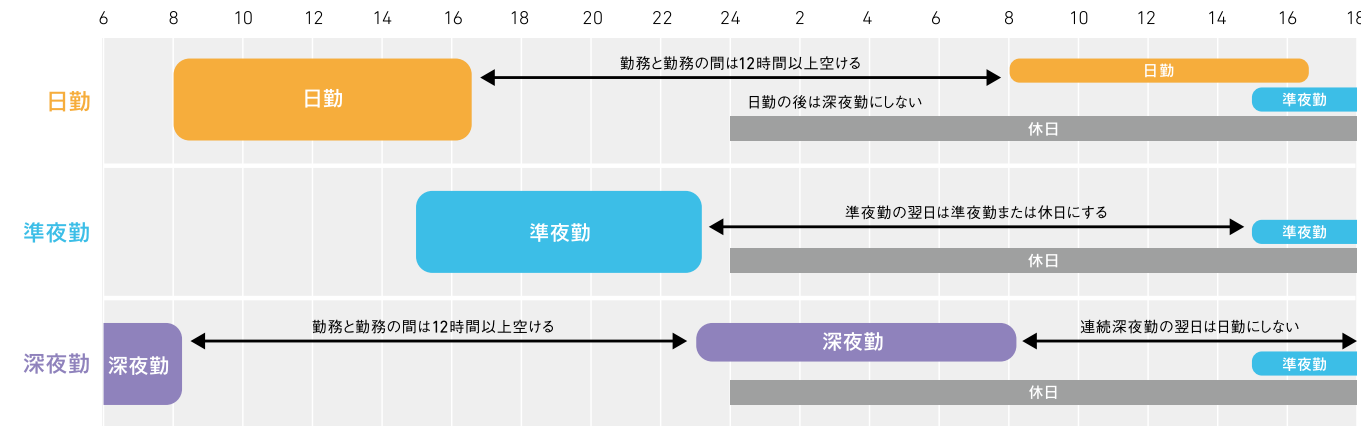
慶應義塾大学病院
3 交替の特徴

- 勤務と勤務の間は12時間以上空ける
- 準夜勤の翌日は準夜勤または休日にする
- 連続深夜勤務の翌日は日勤にしない
- 日勤の後は深夜勤にしない
- 連続勤務は原則として最長5日間とする

勤務時間	日勤	準夜勤	深夜勤
	8:00～16:30	14:45～23:15	23:00～8:15

手術センター勤務時間	日勤	遅番	深夜勤
	8:30～17:00	11:00～19:30	16:00～9:00

シフト例	1	2	3	4	5	6	7	8
	月	火	水	木	金	土	日	月
	日勤	準夜勤	休日	深夜勤	深夜勤	休日	休日	日勤



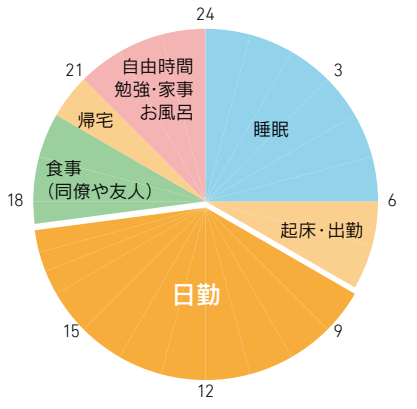
3交替のため1回の勤務時間が短く 勤務時間の前後を有効活用できる

2023年入職・久留米大学卒業 Kさん

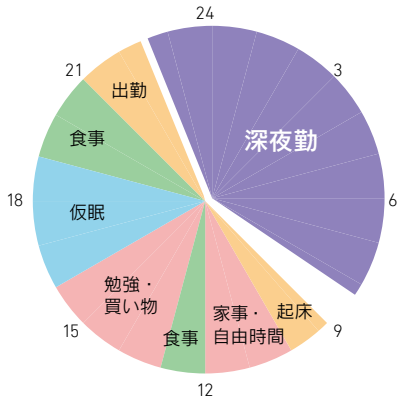


婦人科病棟に所属しており、子宮筋腫や卵巣嚢腫、子宮がん、卵巣がんなどの女性特有の疾患の患者さんに対して、周期期・慢性期・緩和の看護を行っています。三交替のため業務日数は多いですが、1回の勤務時間が二交替よりも短く、身体的疲労も少ないので休日だけでなく勤務の前後でもプライベートな時間をもてることがメリットだと感じています。地方出身なので同郷の友人と都内の散策をしたり時に遠出をしたりして休日を過ごすことが多いです。勤務前後では同期と食事に行くことも多く息抜きができています。今後の目標は、看護師として常に質の高い看護を提供できるよう自己研磨を続けていきたいと思っています。

日勤の場合



深夜勤の場合





看護師寮

病院の敷地内に1棟(15㎡～16㎡)、ワンルームタイプマンションが徒歩圏内に5棟(20㎡～27㎡)あります。

都心で暮らしやすく快適な環境です。

病院周辺には、新宿御苑や明治神宮外苑があり、緑が多く静かな環境となっています。

いずれの寮も、新宿、青山、渋谷、六本木などにアクセスが良い場所で、入寮者はプライベートも充実した日々を過ごしています。

設備が充実したきれいな寮で ゆっくりオフタイムを過ごす

2023年入職・神戸女子大学卒業 Mさん



寮は病院から徒歩8分で通勤に便利です。交通の便が良く、帰省の際もスムーズです。新しくきれいなマンションで他の部屋の生活音はほとんど聞こえません。キッチンには十分な広さがあるので、スイーツやパンも手作りしています。休日は近くの新宿御苑のお気に入りのカフェに行き、リフレッシュしています。

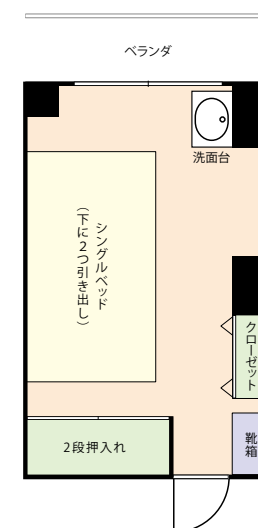
都心にありながら緑豊かで 買い物にも便利な環境

2023年入職・国際医療福祉大学卒業 Nさん

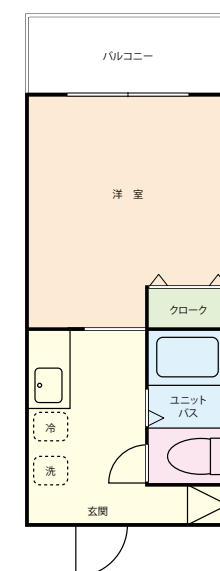


寮の近くに新宿御苑があり、窓から見える緑に癒されます。新宿に近く買い物にも便利です。部屋はユニットバス付きの1Kで、ベッドは備え付けです。部屋では友達とオンラインゲームをしたり、サブスクで動画を見たりしてリラックスしています。オフの日はジムでストレス発散しています。

病院敷地内の寮 間取りの一例



ワンルームタイプ 間取りの一例



働き続けられる環境

職員のライフサイクルとキャリア開発、そして健康管理を考慮した職場環境を整えています。



休日・休暇

- **休日** 4週8休、「国民の祝日に関する法律」で定められた休日、年末年始（6日）、開校記念日、福澤先生誕生記念日
- **休暇** 有給休暇（勤続6カ月以上10日、勤続1年以上14日、勤続3年以上21日）、季節特別休暇（9日）、慶忌休暇等



子育て支援制度

2020年1月～慶應義塾育児支援プログラム（KIDS）がスタートし、子育てを行う教職員にとってのワーク・ライフ・バランスを幅広くサポートしています。結婚や妊娠・子育てをしてもキャリアアップを図りながら働き続けられる環境を整えています。

- **育児休職** 子どもが満3才に達するまで
- **短時間勤務制度** 子どもが満4才に達するまで、または小学校就学日から小学校1年生の9月末日まで（1日最長120分短縮）
- **子育て支援ネットワークミーティング** 年2回、育児休職中の病院内のシステムや業務内容の変化を伝えたり、職場復帰している先輩看護師から子育ての工夫について具体的なアドバイスをしています。
- **その他** 産前産後休暇、育児時間、子の看護のための休暇、院内保育所



学習・キャリア支援

- **看護専門領域看護師による教育と研修** 看護専門領域の看護師が各分野において、院内の全看護師を対象に研修を行っています。ジェネラリスト・ナースとしていかなる領域・対象においても必要な看護を実践できる能力をもちろん、専門分野において高度な看護を実践できる能力を養うことも可能な研修プログラムを計画・実施しています。
- **進学休職** 医療・看護を取りまく環境の大きな変化に対応し、慶應義塾大学病院の臨床看護力の向上を図るために、年に5名程度の進学休職を認める制度があります。



メンタルヘルスサポート

新人看護師を対象に、年2回メンタルヘルスに関する研修を行っています。医学部の学生・病院の教職員はストレスマネジメント室を利用することができます。また、希望者には精神看護専門看護師による個人相談も行っています。

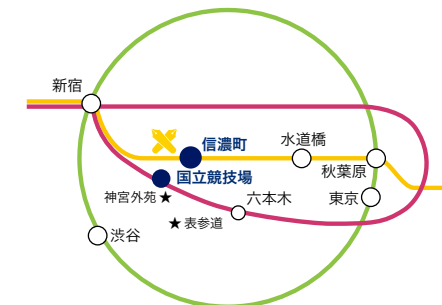


福利厚生

- **介護に関する諸制度**
- **選択型福利厚生制度**（福利厚生倶楽部）
- **住宅等資金貸付制度** ● **医療費貸付制度**
- **子女教育ローン制度** ● **財形貯蓄制度**
- **グループ保険制度**
- **健保組合直営保養所**（山中湖コテージ）
- **契約保養所**（プリンスホテルズ&リゾーツ、ラフォーレ倶楽部、三井不動産グループ系ホテル）

病院のロケーション

病院があるのはJR山手線のほぼ真ん中。渋谷、新宿、池袋、上野など、どこへ行くのにも便利なロケーションです。最先端のファッションや話題のグルメなど、幅広い情報をいち早くキャッチできます！



周辺環境



新宿

日本有数の繁華街。都庁や企業ビル、飲食店や商業施設があり、昼夜問わず活気があります



渋谷

若者文化の発信地であり、劇場、文化施設が点在し心静かに文化を堪能できる街でもあります



国立競技場

2020年東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場として使用されました



神宮外苑

青山通りから外苑中央広場円周道路にいたるイチョウ並木はドラマのロケ地としても有名



表参道

原宿から表参道まで続く美しい並木道は、道幅も広くゆっくりと買い物ができます



六本木

六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館など、見どころ満載です

院内施設



スターバックスコーヒー

1号館の1階にあるスターバックスコーヒーは、広々としたスペースでゆっくり過ごせます



カフェ・ド・クリエ

2号館2階にあるカフェ。外来患者さんが一息つける憩いの場所になっています



レストラン ザ・パーク

2号館の最上階にある帝国ホテルのレストラン。大きな窓から緑豊かな眺望が楽しめます



信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

医学関連の専門図書館として豊富な蔵書が揃っています。平日は21時まで、土日は18時まで開館



ナチュラルローソン

1号館2階にあるコンビニエンスストア。日用品のほか原材料にこだわった食品も扱っています



ファミリーマート

2号館2階にあるコンビニエンスストア。日常生活に必要なものが一通り揃っています

家族と温かい同僚の協力により 仕事と育児を両立 リーダーを目指して研修に取り組む

2021年8月に娘を出産し、翌年8月に復職しました。育児休職中は子育て支援ネットワークミーティングに参加し、仕事と育児の両立についてアドバイスをいただきました。半年間の時短勤務後、現在は通常勤務をしています。夫が一人で娘の世話をしたり、率先して家事をしてくれたりと協力的なのでとても感謝しています。病棟には先輩ママが多く、お手本となる存在が近くにいてくれる安心感があります。娘の看病で急に欠勤した時も、娘を心配してくれる同僚ばかりで温かい職場だと実感しています。現在はリーダー研修に取り組んでいます。患者さんや部署の問題を広い視野で捉え、患者さんに最良の看護を提供できるよう学びを深めていきたいと考えています。



2016年入職 慶應義塾大学卒業
Oさん

看護部の歩み

1918

(大正7年)

医学科付属看護婦養成所開設

1920

(大正9年)

慶應義塾大学病院開院
医学部付属看護婦養成所改称

1950

(昭和25年)

慶應義塾大学医学部付属厚生女子学院改称

1958

(昭和33年)

基準看護創設／看護体制を中央化
補助婦（看護助手）を導入

1962

(昭和37年)

看護部にクラーク導入

1971

(昭和46年)

チームナーシング導入

1973

(昭和48年)

病院にボランティア導入

1977

(昭和52年)

看護部海外研修制度導入

1988

(昭和63年)

慶應義塾看護短期大学開設

1990

(平成2年)

プライマリーナーシング導入
医学部付属厚生女子学院閉校

2001

(平成13年)

慶應義塾大学看護医療学部開設

2002

(平成14年)

慶應チームナーシング導入

2003

(平成15年)

慶應義塾看護短期大学閉校

2005

(平成17年)

大学院健康マネジメント研究科（修士課程）開設

2007

(平成19年)

大学院健康マネジメント研究科（博士課程）開設

2011

(平成23年)

医療3学部（医看薬）による合同教育開始

2018

(平成30年)

慶應看護100年

2020

(令和2年)

慶應義塾大学病院開院100年



採用情報	
募 集 職 種	看護師、助産師
募 集 人 数	看護師約125名、助産師約5名
応 募 資 格	2026年3月に看護師、助産師養成機関を卒業見込みの方 急性期ケアの経験が3年以上ある看護師・助産師の方
応 募 方 法	webエントリー (応募はwebで完結し、郵送等は不要です)
選 考 方 法	一次：書類選考 二次：面接・適性検査

給 与	助産師・看護師（看護大卒）325,880円 看護師（3年課程卒）307,950円 ※病棟夜勤手当（準夜・深夜各4回）を含む（2024年4月実績）	
諸 手 当	通勤交通費手当、超過勤務手当、扶養家族手当 など	
賞 与	賞与年3回（約6.4カ月）（2023年度実績）	
勤 務 時 間	手術センター	
	日 勤	8:00～16:30
	日 勤	8:30～17:00
	準夜勤	14:45～23:15
	遅 番	11:00～19:30
	深夜勤	23:00～ 8:15
	夜 勤	16:00～ 9:00
勤 務 形 態	3交替勤務（一部2交替）	

病院データ（2023 年度）

病 院 種 別	一般病院／大学病院
開 設	1920年
病 院 長	松本 守雄
病 床 数	950床
職 員 数	2,948名
看 護 師 数	1,210名

看 護 体 系	一般病棟 7：1
外 来 患 者 数	3,188名／日平均
入 院 患 者 数	836名／日平均
稼 働 率	88.0％
年間手術件数	16,742件
平均在院日数	11.1日

[診療科部門] 内科(呼吸器、循環器、消化器、腎臓・内分泌・代謝、神経、血液、リウマチ・膠原病) / 外科(一般・消化器、呼吸器、心臓血管、脳神経、小児) / 整形外科 / リハビリテーション科 / 形成外科 / 小児科 / 産科 / 婦人科 / 眼科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 / 精神・神経科 / 放射線治療科 / 放射線診断科 / 麻酔科 / 救急科 / 歯科・口腔外科 / 総合診療科 / 臨床検査科 / 病理診断科 / メモリークリニック / セカンドオピニオン / 感染症外来

[診療施設部門] 予防医療センター / 血液浄化・透析センター / 内視鏡センター / 腫瘍センター / 輸血・細胞療法センター / スポーツ医学総合センター / 漢方医学センター / 臨床遺伝学センター / 免疫統括医療センター / 緩和ケアセンター / 手術・血管造影センター / 集中治療センター / 救急センター / 臨床感染症センター